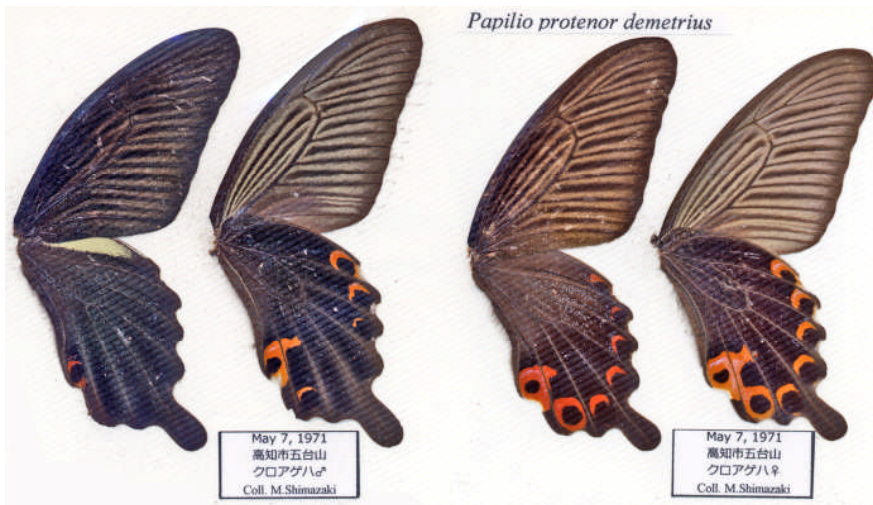


クロアゲハは北海道以外の日本全土に分布し、青森県南部が北限となります。黒いアゲハと聞くだけでは面白みのないチョウかな、となりますが、どっこいそうではありません。♂は後翅前縁にさりげなく白い飾りをつけ、♀はこの白条紋がないことで容易に雌雄を区別できます。♀に



においては後翅の外縁にそって、表裏ともにじっくりながめるとまさしく自然の芸術品ともいえるみごとな赤い弦月模様が並び、特に後翅表面の赤い紋は美しいです。裏面も色調がやや淡くなりますが、内側の大きい赤紋内にしゅいブルーの鱗粉がちりばめられてみごとです。♀の後翅表面中央部には霜降り状の青藍色鱗粉が広がっていてこれがまた

美しい。和名を単純にクロアゲハだとしてしまっているのが失礼だと思ってしまうのですが、そうかといって残念ながら代替案は浮かびません。

石垣島ではこの♀の赤紋がさらに発達した個体がみられ、それを見たいがためにわざわざ遠くから訪れる愛好家がいるほどです。その究極の異常発達タイプが 2004 年 6 月に千葉からご夫婦でチョウと共に住みたいと石垣島に移住された入野さんによって捕獲され、彼の HP に展翅中の写真が掲載されています。これを見たら、クロ



アゲハに関心をもつ愛好家の誰もが、このタイプとの再会を期待して足を運んでもなんら不思議ではないと思わせる信じがたいほどの美

麗異常タイプです。

入野さんとは八重山諸島の蝶を紹介してくれる HP 「昆虫愛ランド in 石垣島：<http://www11.ocn.ne.jp/~irino/>」を通じて懇意となり、2005 年 9 月に石垣島現地で初めて顔見知りの仲となれましたが、趣味が同じということで、思わぬ遠隔の地で親しくなった方はすでに 20 数名、人の輪がひろがるのは楽しいことです。



クロアゲハは花の蜜が好きですが、♂は群れて湿地で吸水することもあります。樹林内の木陰を縫うように飛び交い、蝶道とよばれる一定のコースをいったりきたりする習性もあります。アゲハチョウは緑色のネットに惹かれますが、クロアゲハは赤いネットもって立っていると、その赤いネットめがけて飛んでくることを経験しています。チョウそれぞれで面白いですね。